

対象クラス	1年 ビジネス情報科	単位数	3
使用教科書	最新プログラミング (実教)		
使用副教材	テンプレート (コンピュータメディア) 学習と検定 全商情報処理検定テキスト 2級 プログラミング部門 改訂版 (実教) 全商情報処理検定模擬試験問題集2級 プログラミング (実教)		

「プログラミング」はこんな科目です。

道具としてコンピュータを使うには、プログラムを組む必要があります。この科目では、ビジネスの諸活動を理解し、筋道を立て、効率的なプログラムが組めるよう自ら考え学習する力を養います。

科目の到達目標 (目標とする検定等)

全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験プログラミング部門2級取得を目指します。

J a v a 言語の学習を通じてアルゴリズムを学び、論理的思考力を身に付けます。

2年次からの類型選択を主体的におこなえるよう知識と技術を身に付けます。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	身だしなみを整え、授業を受ける準備がしっかりできている。宿題やテキストなど忘れ物をしない。	ノート 問題集等の各種提出物 宿題
思考・判断・表現	自ら考え、答えを導き出す努力をすることができる。	定期考査 小テスト 宿題
技能	丁寧な文字で誰が見ても分かるノート作りができる。 誰が見ても分かるプログラムが組める。	発表 問題演習
知識・理解	小テスト、定期考査で理解度ををはかる。正しいプログラムが組める。	定期考査 小テスト 宿題 検定試験

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前 期 中 間	プログラミングの基礎 【前期中間考査】	プログラミングの手順 データの入出力と演算 アルゴリズムの表現技法 ・データ構造と制御構造 ・変数と定数	・ビジネスの諸活動と情報処理システムの関わりについて関心を持ち、データ処理の仕組みや役割の重要性を理解します。 ・J a v a 言語の特徴を理解するとともに、データ処理に必要な一連のプログラミング手順を把握します。
前 期 期 末	プログラミングの基礎 【前期期末考査】	条件判定とくりかえし処理 ・条件判定、回数判定 ・最大値・最小値	・見やすく分かりやすいプログラムを作成する意義を理解し、各種の基礎的プログラミング技法を身に付けます。
後 期 中 間	プログラミングの基礎 プログラミングの応用 【後期中間考査】	オブジェクト指向の考え方 メソッドの利用 配列の利用 ・考え方、集計、線形探索 ・トレース	・見やすく分かりやすいプログラムを作成する意義を理解し、各種の応用的プログラミング技法を身に付けます。 ・配列を利用した各種のプログラミング技法を身に付けるとともに、配列の有用性について考察を深めます。
後 期 期 末	プログラミングの応用 【学年末考査】	プログラミングの実習 ・くりかえし処理 ・最大値・最小値 問題演習	・学習したプログラミング技法を使い、実習を行うことで、実践力を身に付けます。 ・デバッグ (プログラム上のミス of 修正) を行うことで、問題解決の手法を学びます。 ・資格の取得を通じて、確かな知識と自信を身に付けます。